

# 特発性大腿骨頭壊死症を 知ってください

山口県

特発性大腿骨頭壊死症友の会



# NPO法人おれんじの会

Since 2007

# 特発性大腿骨頭壊死症とは？

30代から40代の比較的若い人に多く発症します。

脚の付け根の骨（**大腿骨頭**）に行く**細い血管が詰まって、骨が死んでしまいます**。ばい菌が入って骨が腐るのではありません。

ここに体重がかかると**骨が潰れて**（圧潰）、**痛みや関節の機能障害**を引き起こします。

年間に**2000人**くらいの新たな患者さんが発症します。

原因はまだよくわかっていません。病気の治療で**ステロイド**を使った後に発生しやすいことや、**多量飲酒**する人に起こりやすいことが知られています。

# 「指定難病」です。

難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）に基づく医療費助成の対象疾患（厚生労働省の指定した306疾患）に指定されています。

指定難病であっても、**軽症者は対象になりません**。（重症度分類を参照）

医療費助成は**世帯収入に応じて**無料から段階的に、**外来・通院・薬局合わせて**月額30,000円の限度額まで自己負担があります。

現行の重症患者は、以前は医療費の自己負担がありませんでした。法改正に伴い、2017年12月31日までの経過措置期間中は月額5,000円までとなっています。

**軽快者**（病状が安定して特別な治療を必要としなくなったもの）に認定されると医療費助成の対象外となります。

# 対象となる重症度分類とは？

表 2：特発性大腿骨頭壊死症の壊死域局在による病型分類

Type A：壊死域が臼蓋荷重面の内側 1/3 未満にとどまるもの、または壊死域が非荷重部のみに存在するもの

Type B：壊死域が臼蓋荷重面の内側 1/3 以上 2/3 未満の範囲に存在するもの

Type C：壊死域が臼蓋荷重面の内側 2/3 以上におよぶもの

Type C-1：壊死域の外側端が臼蓋縁内にあるもの

Type C-2：壊死域の外側端が臼蓋縁をこえるもの

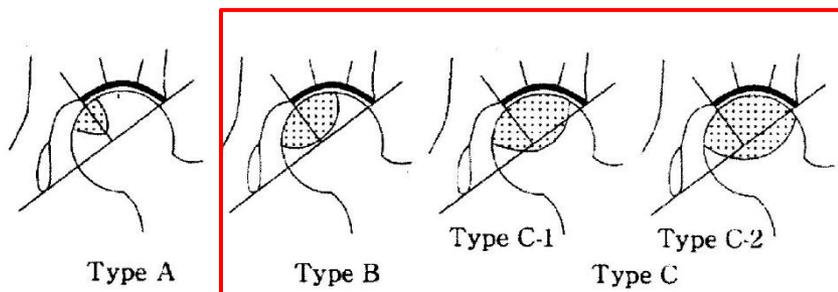
注 1) X線/MRI の両方またはいずれかで判定する

注 2) X線は股関節正面像で判定する

注 3) MRI は T1 強調像の冠状断骨頭中央撮像面で判定する

注 4) 臼蓋荷重面の算定方法

臼蓋縁と涙痕下縁を結ぶ線の垂直 2 等分線が臼蓋と交差した点から外側を臼蓋荷重面とする。



タイプB, Cか、ステージ2以上、  
あるいは  
日本整形外科学会股関節機能  
判定基準の80点未満。

日本整形外科学会股関節機能判定  
基準を用いて、**80点未満**。

およそ、こんな感じです

**歩くと痛い。杖なしでは10分以上  
歩けない。腰掛が困難。しゃがんだり  
立ったりが困難。立ち仕事や階段  
の上り下り、バスや車の乗り降りが  
不自由。**

表 2：特発性大腿骨頭壊死症の病期 (Stage) 分類

Stage 1: X線像の特異的異常所見はないが、MRI、骨シンチグラム、または病理組織像で特異的異常所見がある時期

Stage 2: X線像で帯状硬化像があるが、骨頭の圧潰 (collapse) がない時期

Stage 3: 骨頭の圧潰があるが、関節裂隙は保たれている時期 (骨頭および臼蓋の軽度な骨棘形成はあってもよい)

Stage 3A: 圧潰が 3mm 未満の時期

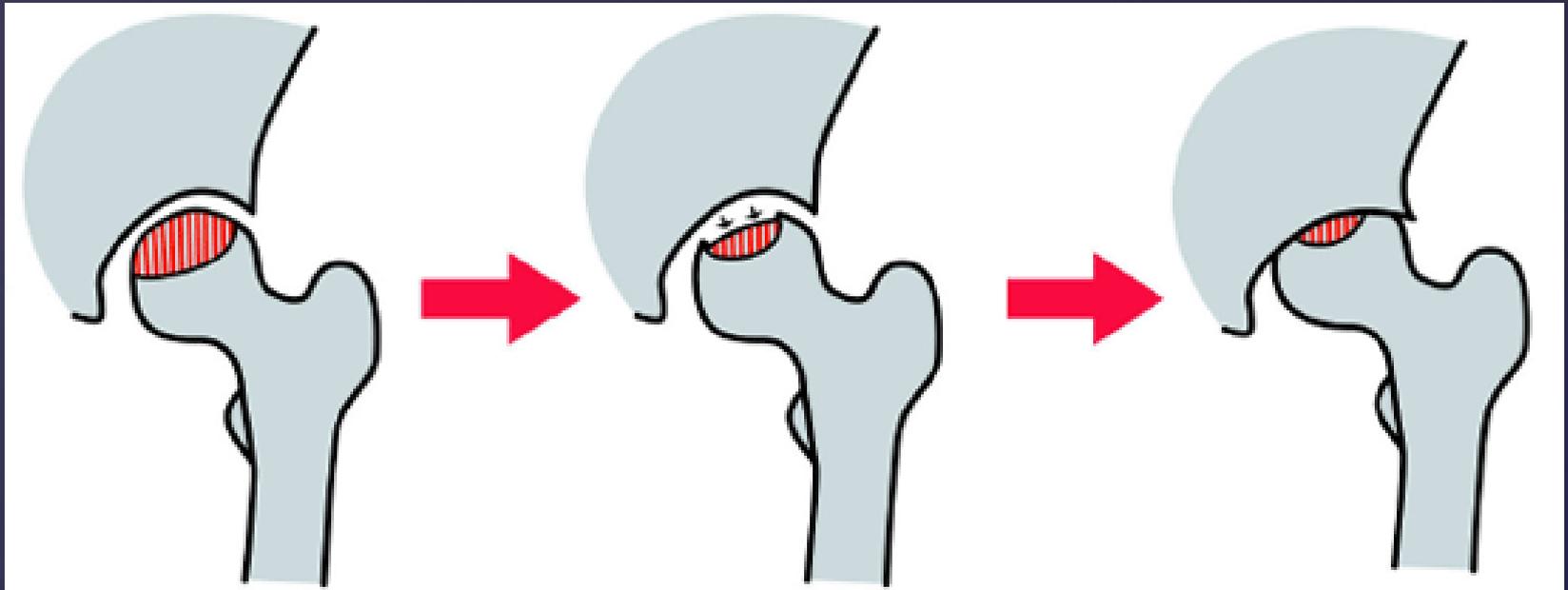
Stage 3B: 圧潰が 3mm 以上の時期

Stage 4: 明らかな関節症性変化が出現する時期

注: 1 骨頭の正面と側面の 2 方向 X線像で評価する (正面像では骨頭圧潰が明らかでなくても側面像で圧潰が明らかであれば側面像所見を採用して病期を判定すること)

2 側面像は股関節屈曲 90 度・外転 45 度・内外旋中間位で正面から撮影する (杉岡法)

# 病気の進行



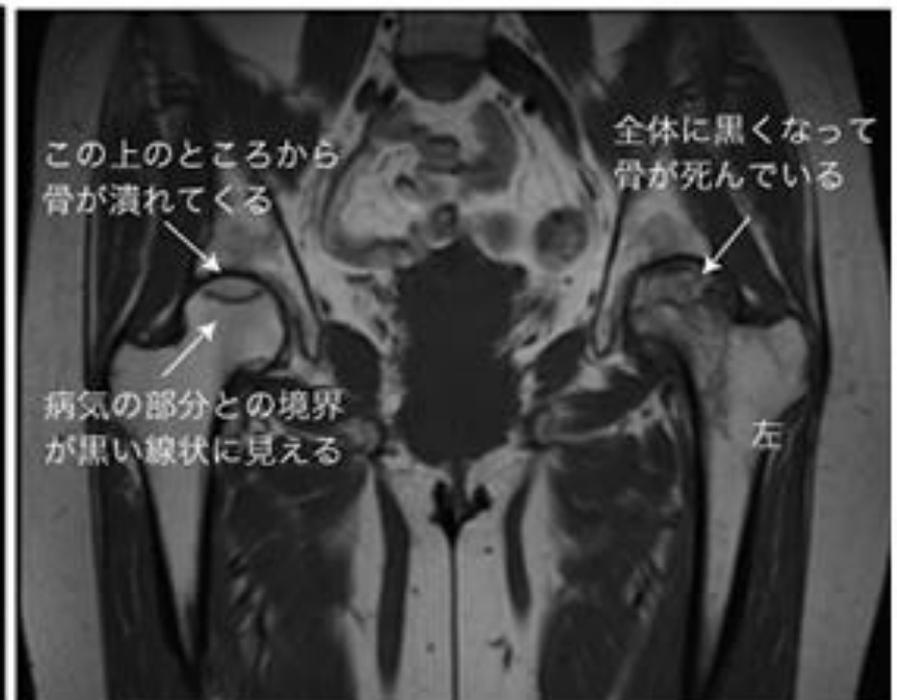
骨に血液が行かなくなって、一部が死んでしまいます。（壊死）。

壊死した骨がつぶれ骨頭が陥没してきます。

関節全体に変形がおきます。

# 早期診断；MRI

単純エックス線写真が正常でも、MRIでは**バンド**と呼ばれる病変がある。



単純エックス線

MRI

# 保存的治療（手術をしない）

負担がかからないように、杖を持って歩く。

筋力トレーニングやストレッチは積極的にやる。

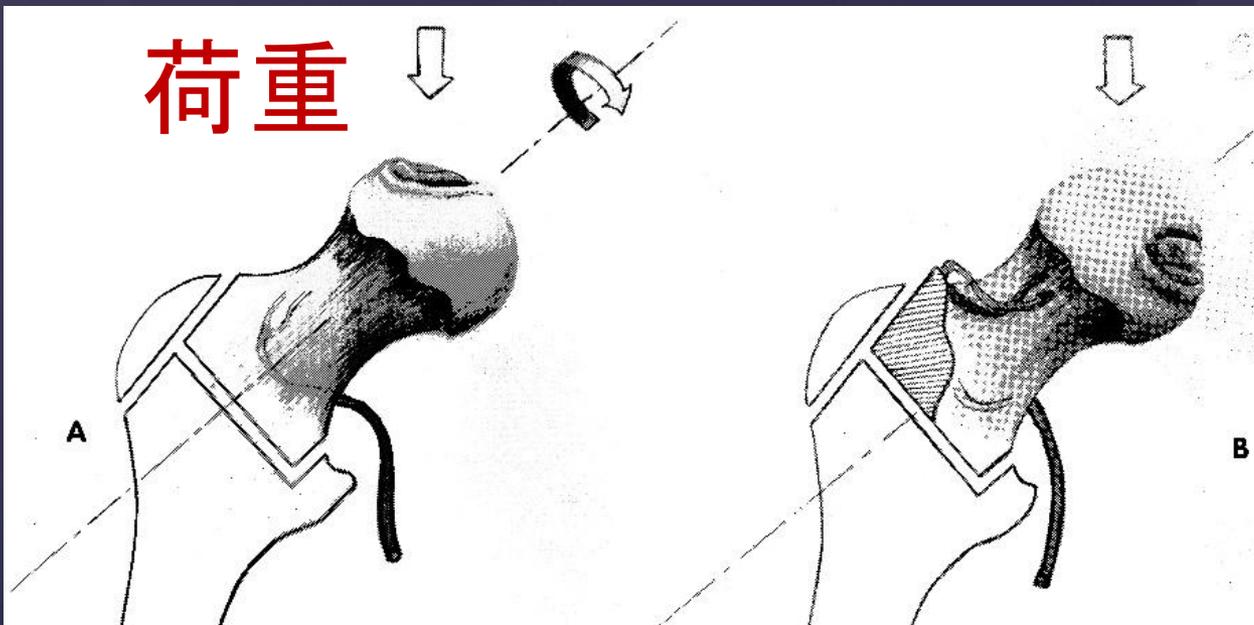
体重を増やさない。

水泳、水中ウォークが良い



# 治療方法（骨切り術）

## 前方回転骨切り術



壊死部分が  
荷重部にある

壊死部分は荷重部  
を外れる



骨切り術用の固定金具

# 治療方法（人工關節全置換術）



臼蓋側



大腿骨側

人工關節

# 患者は困っています（1）

**痛み**；痛いときは全く動けない。寝ていても痛くて目が覚める。**毎日が痛みとの闘い**

**周囲の理解**；病気自体、**知られていない**。**外見でわからない**。日常生活に痛みが付きまとうことがどれだけ苦痛か、わかっても  
られない。

**動作の困難**；座ってしまおうと立ち上がれない。**トイレ**が不自由。**靴下**を自分ではけない。**長距離は歩けない**。

# 患者は困っています（2）

⊗ **就労制限**；元の仕事ができず、戻れない。  
失業したが、今の体の状態では**仕事がない**。

⊗ **社会参加制限**；地域行事や、子供の学  
校行事に参加できない。買い物に行かれな  
い。

⊗ **治療方法の迷い**；若いので人工関節に  
したくない。何度も手術したくない。

# 社会保障制度上の問題

発症から確定診断がつくまでの間は医療費公費助成制度が使えない。

どんなに痛みや活動制限があっても、身体障害者手帳の対象とはならないことが多い。

**指定難病**に認定→手帳はなくても、**障害者総合支援法**でサービスが受けられる。杖や装具の支給を受けたり、自宅を改修したりすることが可能。（1割負担）

65歳以上は介護保険法の対象。